

沢田さんと「あいあい」

元県議会議員の沢田たか子（澤田享子）さんが、5月11日、亡くなった。各所に転移したガンとの2年近い闘病の上での最期だった。1948年（昭和23年）6月29日生れ、享年72歳だった。

この人と私の44年に及ぶ関わりの中には、様々な出来事があった。「あいあい」とも深いつながりのある人だった。その一部を紹介したい。

理事長 下村 勉

「間伐材を活用できないですか」。

2000年の夏、開園準備活動中の私は沖縄・那覇市内を走るタクシーの中にいた。沢田さんからの電話が入った。沢田さんは親友であり、3期目の県議会議員だった。「父が間伐材を保育園で活用してもらえないかと言ってます」という話だった。その当時、私は「間伐材」というものを全く知らなかった。

沢田さんの父は、高島郡今津町の山奥に30町歩に及ぶ山林を管理しておられた。山の樹木を育てるために、毎年、枝打ちや下草刈りのほか、成長が遅れた木の間引き（間伐）も行わなければならない。すると大量の間伐材が出る。間伐材は不揃いで建築用材にならない。人手をかけて搬出しても赤字になるばかり。だから切り倒された間伐材は山に放置され、朽ち果てていく。だが、どの一本も父や祖父が植林し、何十年もかけて大切に育ててきたものだ。「もったいない！ 誰か有効に活用してくれないか」というのが林業者たちの願いということだった。

以来、何度も沢田林からたくさんの間伐材をいただき、草津市の大工・草川さんの資材置き場まで運んだ。草川さんはそれを材料に、器用に遊具などを作ってくれた。第1号は、木馬だった。まだ園舎は建築途上だったが、大中小3台ずつ開園までに揃った。その木馬は子どもたちに大人気で、20年が経つが、びくともしない。続いて、ドリームハウスなど三つのログハウス、シーソーやミザラも作られた。

こうして、間伐材は保育環境を豊かにするために活用され、間伐材の活用が森林資源の涵養に役立っている。その橋渡しをしてくれたのが、沢田たか子さんである。

「尋ねてみます」の一言が、「あいあい」開園につながる。

その少し前の2000年4月、大津あいあい保育園の設立活動は大きな壁にぶつかっていた。前年の1999年9月に県に提出した「認可申請書」がいつまで経っても棚ざらしで、認可が出ない。当初の約束をとくに過ぎている。このままでは、法人の設立や園舎の建設に着手できない。

年度も変わってしまった。4月18日の朝、たまりかねた私は沢田さんに相談した。すると、「どうなっているのか、部長に尋ねてみます」とのことだった。その日の夕方5時過ぎ、私の携帯が鳴った。県の担当者からだった。前日までとは態度がガラリと変わっていた。なんと、「明日、認可書をお渡ししたいので、9時に来てください」という連絡だった。驚いた！ 急転直下の解決で、開園準備が大きく動き出した。翌々日に「社会福祉法人 唐橋福祉会」の設立総会が開かれ、工事の入札日が決まった。

もしあのまま認可があと一か月も遅れたら、2001年4月1日の「あいあい」開園はなかっただろう。「なんとでも4月1日に開園し、その日から保育を開始する」とのこだわりは実現しなかったに違いない。沢田さんの「尋ねてみます」の静かな一言が「あいあい」の歴史につながった。

沢田たか子(澤田享子)のあゆみ

- 1948年(昭和23年)6月29日 高島郡今津町椋川にて、
沢田純三・春枝のもとに誕生。(享年72歳)
- 1967年3月 滋賀県立高島高校を卒業。
- 1971年3月 滋賀大学学芸学部を卒業。
- 同年 4月 マキノ町立マキノ北小学校に着任。
- 1973年4月 草津市立山田小学校に転任。
- 1977年4月 大津市立石山小学校に転任。1年生を担当。
- 1978年4月 大津市教職員組合執行委員となり、教職員組合活動に本格的に参画。
- 1979年4月 大津市教職員組合婦人部長。
- 1980～83年 滋賀県教職員組合婦人部長。総評滋賀地評婦人部長。
- 1985・86年 大津市教職員組合初の女性書記長に就任。
- 1987年4月 大津市会議員選挙に「教育の沢田」を掲げ、日本社会党公認で出馬。
大津市議選挙空前の4701票を得てトップ当選。
- 1991年4月 大津市議選挙に3555票で再びトップ当選(再選)。
(市議2期在任中、青少年高齢化対策特別委員長、交通対策特別委員長などを歴任)。
- 1994年7月 滋賀県議会議員補欠選挙に労働団体などの統一候補として出馬。
定員1名の激戦を制して見事、当選。(29, 247票の得票)
- 1995年4月 滋賀県議会議員本選挙にて再選。
- 1996年～ 社民党滋賀県連合副代表に就任。
- 1999年4月 滋賀県議会議員に三選。
- 2003年4月 滋賀県議会議員に四選
- 2006年7月 嘉田由紀子知事誕生のために奮闘。
- 2007年4月 滋賀県議会議員に「市民後援会」の支援で出馬。
11, 881票の得票でトップ当選(五選)。
- 2009年9月 県議会副議長選挙において47票中23票を得たが、他の議員と同数となる。
結果はクジ引きで敗退。
- 2011年4月 滋賀県議会議員に六選。
- 2015年4月 滋賀県議会議員選挙に惜敗し、議員を引退。
(県議6期在任中、健康福祉商工労働常任委員長、環境・防災対策特別委員長、青年高齢化対策特別委員長、県監査委員などを歴任)。
(県議在職20年・全国自治功労者表彰を受賞)。
- 2018・19年 社民党滋賀県連合幹事長に就任。病気で退任。